



奉仕を通じて
平和を
田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

【2012-2013年度 RIテーマ】 ■ それでこそロータリー

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【コスモス】
写真提供：櫻井龍太郎

会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯

第1964回

■ ソング リーダー 新島義之君

会長報告 仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。日中の平均気温も31度前後と残暑が続いていますが、朝夕の風には涼しさを感じ、空も澄み渡り高く感じられる季節となりました。これから寒暖の差が大きくなる季節となります。会員の皆さんにおかれましては、ともかくお体の管理には気を付けてお過ごしくださいようお願い致します。

さて、今日の例会には、藤枝順心高校インターアクトクラブの顧問でいらっしゃいます佐野先生と生徒さんにお越しいただいています。佐野先生、生徒の皆さん、本日はお忙しい中おいでくださりましてありがとうございます。後程、先生、生徒さんには、年次大会の報告、近況活動報告等をお話しいただけるということで楽しみにしております。

先週も少しご報告させていただきましたが、今月は新世代のための月間です。年齢30歳までの若い人の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる目的で設けられています。全国のロータリークラブによる新世代のための活動は、様々なものがあります。ネパールに小学校の建設といったような国際的な活動をされているクラブもありますし、中学生対象の出前講座といった地域社会での活動をされているクラブもあります。私達藤枝クラブの新世代奉仕としては、順心高校インターアクトクラブのサポート、そして静岡産業大学の冠講座、スポーツ少年団への協賛ということになります。順心高校のインターアクトクラブの皆さんが、精力的に点字本の作成や幼児の保育ボランティア等奉仕をなさっていらっしゃることに心から感動を覚えます。

私達もサポートクラブとして、今後インターアクトクラブの例会に出席させていただく中で、交流を深め一緒に活動することもしていきたいと思っています。皆さんの活動は、本当に素晴らしい立派な活動です。是非、学校の中で自信と誇りを持って、同級生に声を掛け、仲間を増やしていただくようお願い致します。

さて、話は変わりますが、今年のオリンピックで日本は、過去最高の数のメダルを獲得したわけですが、メダルを手にしてほとんどの選手が、サポートしてくれた皆さんへの感謝の気持ちを全面にだしての喜びの報告でした。天性の才能と本人の血のにじむような練習、努力があつての成果だと思いますが、選手の第一声が支えてくれた皆さんへの気遣い、感謝の言葉であったことに感動を覚えると共に日本の未来に希望を感じました。個人主義的な風潮が強くなりつつある世相ですが、廻りへの気遣い、感謝、思いやりのできる世代を育てていくことが我々ロータリーの一つの使命であるとのこと報告をさせていただいて、会長方報告とさせていただきます。

幹事報告 池ノ谷 敏正君

- 第2620地区より
ガバナー月信9月号訂正のお知らせが届いております。
- 第2620地区より
GSE委員会報告が届いております。
- 第2620地区より
ロータリー米山奨学会からのお知らせが届いております。

- 第2620地区より
山梨新聞掲載記事が届いております
- 第2620地区より
バギオだより32号が届いております。
- 社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会より
「わくわくフェスタきすみれ」開催についてのご案内が届いております。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会より
藤枝子どもと本をつなぐ会通信が届いております。

出席報告

中森 義次君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
33 / 40 82.50%	34 / 40 85.00%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

大杉君 大塚高君 小泉君 小林君
江崎晴君 落合君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

大長 昭子君(藤枝南)

ビジター

中森 義次君

若林 秀典君(藤枝)

スマイルBOX

中森 義次君

- 二男に第一子が誕生しました。5人目の孫です。
良い「じーちゃん」になれるよう頑張ります。

大塚 博巳君

スマイル累計金額 94,580円

3分間スピーチ

杉山 静一君

当クラブ入会1976年10月、本年10月で36年目となります。その間一番残念な事は、例会皆出席が35年で終わってしまった事です。



この36年を振り返って思いますと、1980年から今日まで、各委員長を経験させてもらい、その数12委員会でした。1990年には幹事に1997年には第26第の会長を拝命いたしました。

この間楽しかったことも多くありました。とりわけ楽しかったことは、会員仲間での旅行・観劇・観戦です。みな夫婦で参加でした。残念なこともあります。友人の死です。これまでの思い出として、歴代会長をつとめられた方々、委員会事業の社会奉仕委員会事業、出席委員会事業・会員増強時事業と思い出せばきりがありませんので、この辺で終わります。

最後に高校時代の同窓生の活躍について。

吉田弘氏、静岡工業高校卒、元サッカー日本代表。2009年アテネ五輪ナデシコジャパンのコーチ。07年U16女子日本代表監督。2010年U17女子W杯トリニダードトバコ大会準優勝、2011年からU20女子日本代表監督も兼務。次期ナデシコジャパン監督の有望株。

インターアクト年間報告

順心高校インターアクトクラブ

部長 山本美優さん
丹羽泉帆さん
谷下美凧さん



こんにちは。藤枝順心高校インターアクト部二年の山本美優、谷下美凧、丹羽泉帆です。日頃から、私達インターアクト部にご指導、ご支援を頂きたいへんありがとうございます。

私達インターアクト部は一年生二人、二年生三人、三年生一人の六人で水曜日と金曜日の放課後を使って主に点



字カレンダーの製作をしています。その点字カレンダーは一人一人が点字を打ち一年間という長い期間を使ってみんなで協力しながら地道に作っています。完成した点字カレンダーは、視覚特別支援学校などに配布しています。利用者からは、大変喜ばれているので私達もやりがいを感じています。また夏休みを使って藤枝光文庫の視覚障害者

向けのヒットソングの点字歌集作りに初めて参加させて頂きました。覚えることが多く、苦戦しましたが大学生の方に教わりながら完成させることができたのでとても達成感を感じています。この活動は静岡新聞の記事で紹介されました。



点字以外では昨年の十月に全校生徒の協力を得て、東日本大震災の支援活動として、「あったかプレゼント」という企画で被災地へ、毛布やカイロなどを送りました。夏休みに参加したインターアクト年次大会は焼津青少年の家で開催されました。基調講演での松山文紀さんのボランティア協力講演では、東日本大震災の現地の様子やボランティア活動の実際がよくわかりました。山口大祐さんの震災体験者講演では、実際に山口さんが体験した地震と津波の恐怖が伝わってきて身震いするような思いでした。また、創作活動の七宝焼き作りは難しく手順も最初はよくわかりませんでしたが、講師の先生にていね



いに指導を頂きとても楽しくできました。分科会では他の学校のインターアクト部の仲間とそれぞれ活動の報告をしあいました。そして、ボランティア活動にどうしても多くの方に参加してもらえるかなどについて、話し合いました。また、お互いの活動の良い所は、どんどん参考にして活動を進めていこうと励ましあいました。十月には、順心高校の文化祭、しらうめ祭があります。今年のインターアクト部の企画では来た人に楽しんでもらいながら、募金をしていただけるように準備を進めています。成功させるために頑張りたいと思います。今後も、ご支援ご協力をよろしく願います。

顧問 佐野巖様



こんにちは。インターアクトクラブ顧問の佐野と申します。顧問になって今年で九年目になります。宜しくお願いします。日常の活動内容と年次大会の様子は生徒が報告しましたので、私の方からは、今後の活動の方向と問題点などをお話させて頂きます。先程の生徒の報告の中にもありましたが、昨年、この例会の後で、東日本大震災の救援活動として何が出来るのかを考えました。募金以外に何が出来るかです。現実、日が経つにつれて、募金は集まりません。インターネットや、東北のNPO等とも連絡を取る中で、静岡県のある団体とつながり、絵本・毛布・衣類・カイロなどの支援物資を送る活動を文化祭で行う事になりました。文化祭は10月なので、冬を迎える東北には、暖房器具が我々以上に必要でした。本校の教員、生徒、保護者、一般の方も含め多くの物資が集まり、12月には宮城県・女川町の仮設住宅に送ることが出来ました。その仮設住宅の代表の方からは、お礼の手紙も頂き、ボランティア活動の大切さを実感したと同時に、達成感も味わいました。毎年、ここでも同じような話で申し訳ないのですが、活動のマナー化、つまり点字活動と年次大会、指導者講習会の参加、文化祭での展示に終始してしまっているということです。ですが、年次大会等の最近のテーマはすべてと行って良いほど「大震災」です。ですから今年も、文化祭に向けて、高校生として何が出来るのか、昨年のような活動に何かプラスして出来ることはないのか、今から考えていきたいと思っています。

また、部員の減少につきましては、活動のPR、呼びかけを強化するなどしなければならぬことは継続していきたいと考えています。ただ、少人数でも、その志があれば活動は決して停滞はしないとも最近は思っています。

今後とも、ロータリークラブとは連絡を取り合って充実した活動をしていければと思っています。